

日興FWS・先進国株クオリティ(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：NS先株ク無

2022年8月2日から2023年7月31日まで

第 2 期 決算日：2023年7月31日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。

当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当期の状況

基準価額(期末)	12,082円
純資産総額(期末)	2,541百万円
騰落率(当期)	+14.6%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

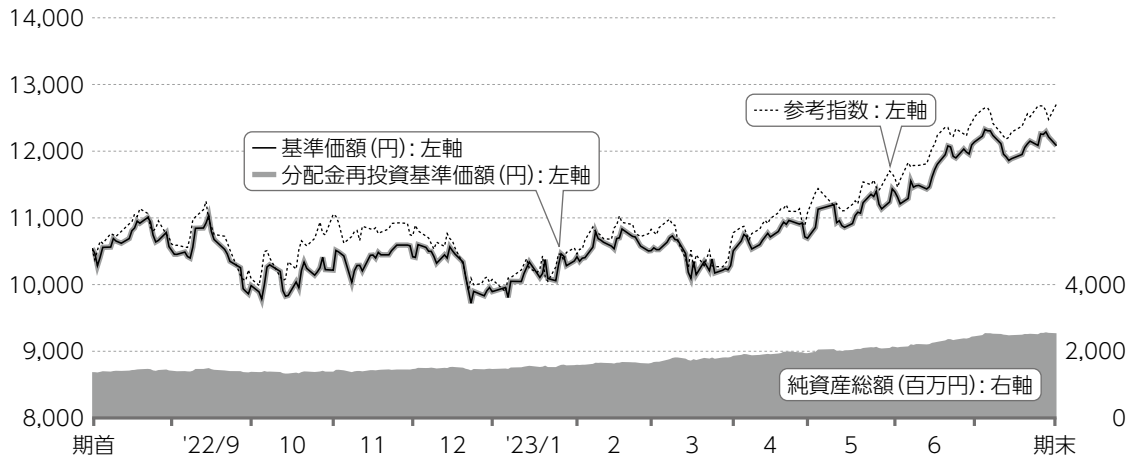
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,542円
期末	12,082円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+14.6% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行いました。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 欧米のインフレ鈍化を受け、主要中央銀行の金融引き締めサイクル終了への期待が高まったこと
- F R B (米連邦準備制度理事会)が米景気の急激な悪化を回避しつつインフレを抑制できるとの見方が台頭したこと
- 概ね良好な企業業績となったこと
- 主要通貨に対して円安となったこと

下落要因

- インフレ加速を背景とした主要中央銀行の一段の利上げや金融引き締め政策の長期化による景気後退への懸念が高まったこと
- 米地方銀行の破綻を受けて金融システム不安が台頭したこと
- 債務上限問題により、米国債の債務不履行懸念が高まったこと

1万口当たりの費用明細(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	24円	0.225%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は10,743円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.164)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.033)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(-)	(-)	
(投 資 信 託 証 券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投 資 信 託 証 券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.007	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	25	0.231	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

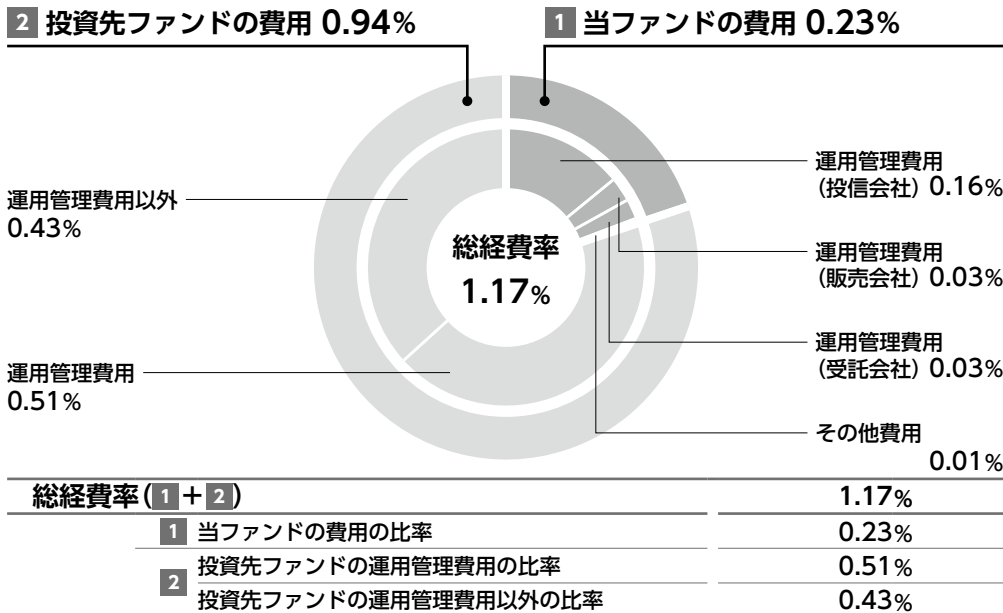
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

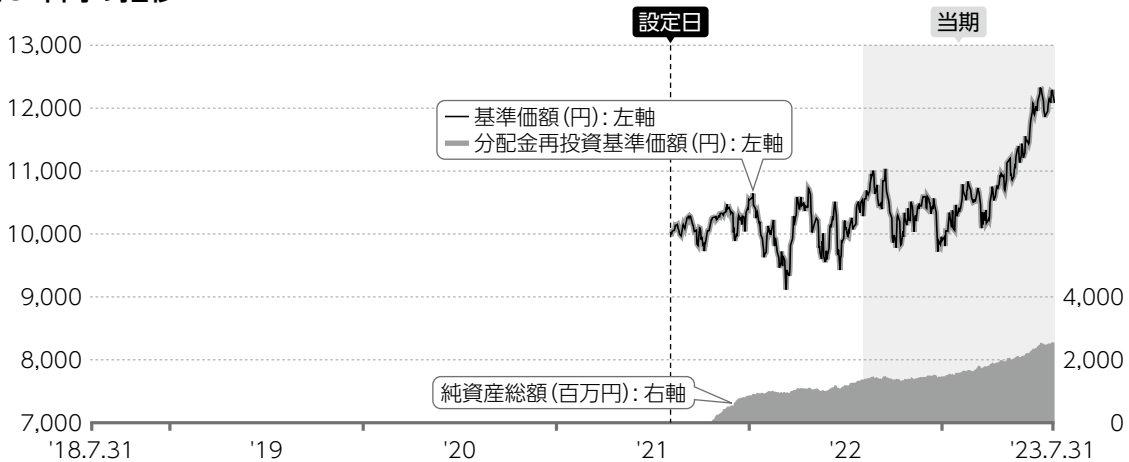
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.17%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年7月31日から2023年7月31日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2021年8月3日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2021.8.3 設定日	2022.8.1 決算日	2023.7.31 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,542	12,082
期間分配金合計(税引前)	(円)	-	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	-	5.4	14.6
参考指数騰落率	(%)	-	11.3	20.6
純資産総額	(百万円)	1	1,375	2,541

参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。
 ※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

投資環境について(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

期間におけるグローバル株式市場は上昇しました。為替市場では主要通貨に対して円安となりました。

グローバル株式市場

グローバル株式市場は上昇しました。
 期初は、小幅に上昇した後、主要中央銀行の一段の利上げが景気後退を招くことへの懸念から下落に転じ、10月半ばには期中の安値圏となりました。その後、概ね良好な企業業績を材料に持ち直したものの、2023年3月前半までは、世界的に景気後退懸念が強まる中、主要中央銀行による利上げ長期化の可能性や米地方銀行の破綻を受けた金融システム不安が重石となり、上値の重い動きとなりました。
 3月後半には、企業業績への安心感や米利上げサイクル終了への期待感から騰勢を取り戻しました。6月以降は、F R Bが米景気の急激な悪化を回避しつつインフレを抑制できるとの楽観的な見方が強まって上昇したことから、期中の高値圏で期を終えました。

為替市場

期末の米ドル/円相場は、期初と比較して円安となりました。
 期初から10月にかけて、米インフレ加速を受けF R Bの利上げ継続への見方が強まり、米ドル高が進行しました。年明けまで一時円高に戻したものの、日米金融政策の格差が意識されたことから再び米ドル高・円安が進み、期初比では円安となりました。
 期末のユーロ及び英ポンドについても、期初と比較して円安となりました。

ポートフォリオについて(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

当ファンド

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」の組入比率を高位に保ちました。

MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド」の組入比率を高位に保ちました。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんでした。

(MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド)

●株式組入比率

主に日本を除く先進国の株式等の中から、中長期的に成長が期待できる銘柄を中心に投資を行い、株式組入比率は期を通じて高位に維持しました。

●国別配分

期末では、純資産総額の70%程度を米国に投資しました。次いで、カナダ、英国の比率を高くしました。

●通貨配分

期末では、純資産総額の70%以上が米ドル建てでした。米ドル以外では、ユーロや英ポンド、スイス・フラン建ての比率を高くしました。

●業種配分

期末の組入上位業種は、情報技術、金融、ヘル

スケアでした。これらの3業種の合計で純資産総額の50%程度を占めました。

●個別銘柄

期末の組入上位銘柄は、大手ソフトウェアメーカーのマイクロソフト(米/情報技術)、インターネット検索エンジン・プロバイダーのアルファベット(米/コミュニケーション・サービス)、コンサルティングサービスおよびソリューションのアクセンチュア(米/情報技術)でした。

期中の売買については、ITアドバイザリー業務のガートナー(米/情報技術)や電源盤、スイッチ器材メーカーのシュナイダーエレクトリック(フランス/資本財・サービス)などを新規に組み入れた一方、家庭用品、医薬品メーカーのレキットベンキナー・グループ(英/生活必需品)や支払い業務サービス・プロバイダーのフィディリティ・ナショナルインフォメーション・サービスズ(米/金融)などを全部売却しました。

●ポートフォリオの特性

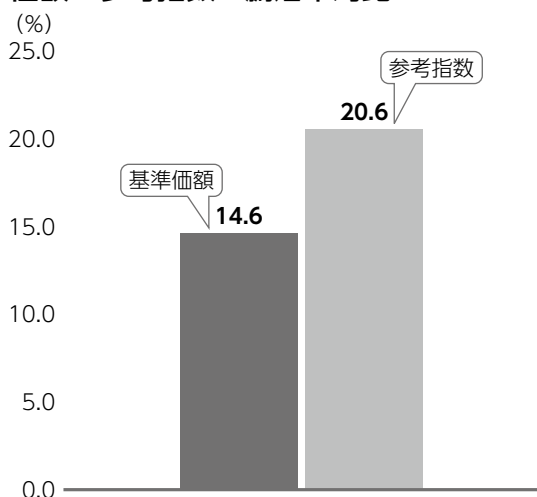
企業ファンダメンタルズ(業績、財務内容などの基礎的諸条件)の分析に基づき、強い価格決定力を備え、高クオリティかつ持続的なキャッシュフローの成長が期待できる企業群への投資を継続しました。期末において、10業種73銘柄に分散したポートフォリオとしました。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは、運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2022年8月2日から2023年7月31日まで)

(単位:円、1万口当たり、税引前)

項目	第2期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,082

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」の組入比率を高位に保ちます。

MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド」の組入比率を高位に保ちます。

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

(MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド)

当ファンドは、常に中長期的な視点から、本業

に強みを持ち、市場平均以上の収益やキャッシュフローの成長が継続的に期待され、かつバリュエーション(投資価値評価)も割安に放置されていると考えられるクオリティの高い企業群への投資を継続します。世界の金融市場や経済の動向、地政学リスクなどに留意しながら、MF S独自のリサーチプロセスに基づき、短期的で不安定な市場の動向に過剰反応することなく、あくまで長期的視野に基づいた投資を行います。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

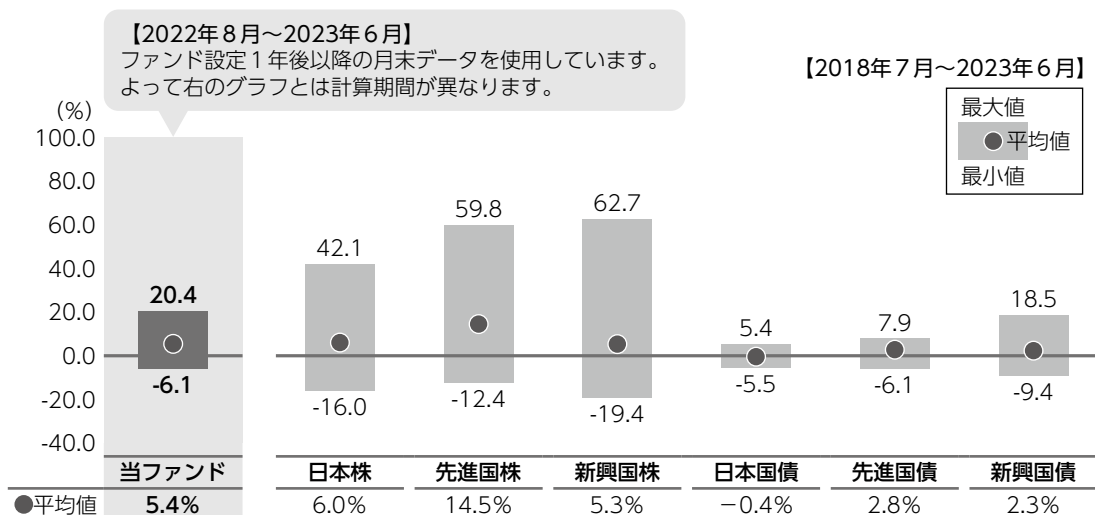
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	無期限(設定日:2021年8月3日)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。 当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。
主要投資対象	MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用) MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 本邦貸建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	■投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。 ■指定投資信託証券の選定については、SMB C日興証券株式会社からの助言を受けます。なお、指定投資信託証券は、継続的にモニタリングを行い必要な場合は入替えもを行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ■年1回(原則として毎年7月31日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
分配方針	※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

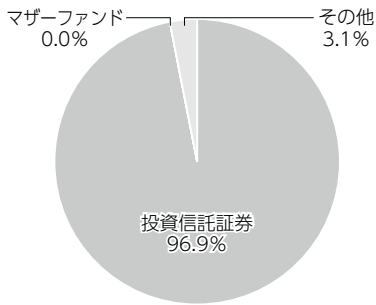
当ファンドの組入資産の内容(2023年7月31日)

組入れファンド等

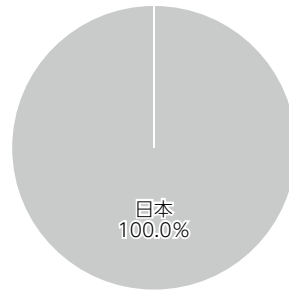
銘柄名	組入比率
MFSグローバル・クオリティ・グロース株ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	96.9%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.0%
コールローン等、その他	3.1%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

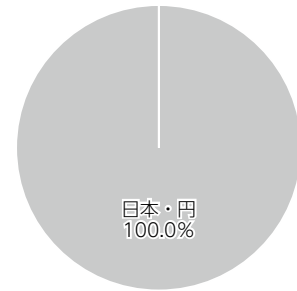
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

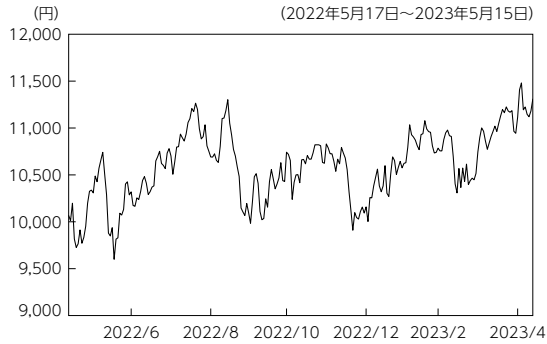
項目		第2期末 2023年7月31日
純資産総額	(円)	2,541,161,455
受益権総口数	(口)	2,103,222,900
1万口当たり基準価額	(円)	12,082

※当期における、追加設定元本額は1,042,206,473円、解約元本額は243,490,237円です。

組入上位ファンドの概要

◆MFSグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)
(2022年5月17日から2023年5月15日まで)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年5月17日~2023年5月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	55 (52) (0) (2)	0.516 (0.494) (0.003) (0.019)
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.042 (0.042) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	46 (43) (3)	0.434 (0.408) (0.026)
合 計	105	0.992

期中の平均基準価額は、10,592円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

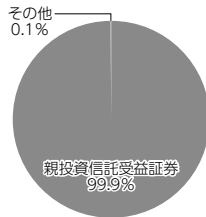
○組入上位ファンド

(2023年5月15日現在)

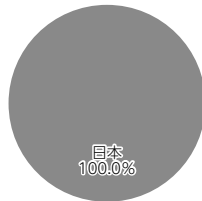
銘 柄 名	第2期末
MFSグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド	99.9%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) マザーファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

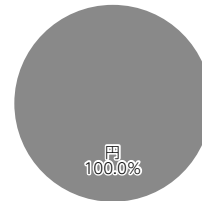
○資産別配分



○国別配分



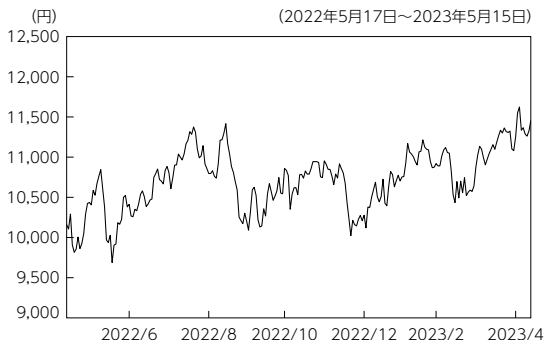
○通貨別配分



(注1) 構成比は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注3) コール・ローン等は「その他」に分類しています。

<ご参考> MFS グローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年5月17日～2023年5月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.041 (0.041) (0.000)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	44 (44)	0.409 (0.409)
合 計	48	0.450

期中の平均基準価額は、10,709円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

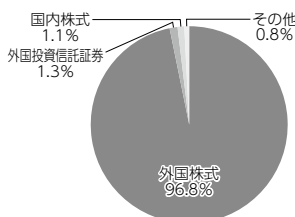
○組入上位10銘柄

(2023年5月15日現在)

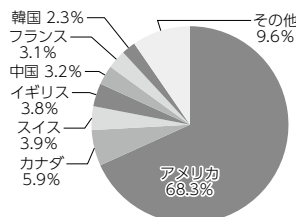
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	5.5
2	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	5.5
3	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.0
4	ACCENTURE PLC-CL A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	2.8
5	CANADIAN PACIFIC KANSAS CITY	運輸	アメリカドル	カナダ	2.8
6	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	2.5
7	TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	香港ドル	中国	2.3
8	CHURCH & DWIGHT CO INC	家庭用品・パーソナル用品	アメリカドル	アメリカ	2.2
9	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	台湾	1.9
10	ICON PLC	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	1.9
組入銘柄数			73銘柄		

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

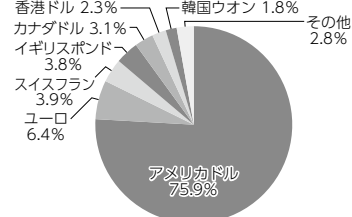
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 構成比は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注3) コール・ローン等は「その他」に分類しています。